

会 議 録 (要点記録)

会 議 名	第 3 6 期小金井市公民館運営審議会第 1 2 回審議会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	令和 5 年 1 月 1 1 日 (水) 1 0 時から 1 2 時 3 0 分		
開 催 場 所	小金井市公民館緑分館学習室		
出 席 委 員	渡邊委員長 川原委員 嵯峨山委員 坂内委員 本川委員 吉田委員 オンラインで出席：大久保委員		
欠 席 委 員	新井副委員長 橋本委員 浅野委員		
事 務 局 員	鈴木公民館長 渡邊庶務係長 大久保事業係長 松本貫井南分館長 山崎緑分館長		
貫井北・東分館 事業運営受託者	N P O 法人市民の図書館・公民館こがねい 村山分館長 鈴木分館長		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	1 名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 開会</p> <p>2 第 1 1 回審議会の会議録の承認について</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 東京都公民館連絡協議会委員部会の報告について</p> <p>(2) 公民館事業の報告について</p> <p>4 審議事項</p> <p>公民館事業の計画について</p> <p>5 協議事項</p> <p>小金井市行財政改革 2 0 2 5 及び小金井市公民館中長期計画に基づ づく公民館緑分館の委託化について</p> <p>6 その他</p> <p>(1) 公民館施設の有料化について</p> <p>(2) 今後のスケジュールについて</p> <p>7 閉会</p> <p>配付資料</p> <p>送付資料</p> <p>(1) 東京都公民館連絡協議会委員部会の報告書</p> <p>(2) 公民館事業の報告</p> <p>(3) 公民館事業の計画</p> <p>(4) 小金井市行財政改革 2 0 2 5 及び小金井市中長期</p>		

	<p>計画に基づく公民館緑分館の委託化について答申書（たたき台）</p> <p>(5) 公民館登録団体及び社会教育関係団体の公民館利用状況調べ</p> <p>(6) 令和5年度 公民館運営審議会スケジュール（案）</p>
--	--

会 議 結 果

次第1 開会

次第2 第11回審議会の会議録の承認について

【渡邊委員長】

- ・ 第10回公運審の審議会の会議録については、承認ということでよいか。

(異議なし)

次第3 報告事項

(1) 東京都公民館連絡協議会 委員部会の報告について

【吉田委員】

- ・ 令和4年11月24日に第8回委員部会が開催された。令和5年2月4日に開催される第59回東京都公民館研究大会の事前打合せ等を行った。詳細は資料1をご覧ください。
- ・ 資料1の裏面をご覧ください。令和4年12月22日に第9回委員部会が開催された。内容としては研究大会の打合せのほか、先般、実施した各市の公民館調査の結果を共有した。小金井市は全館にWi-Fi設置状況やバリアフリーの状況など高い評価を得た。
- ・ 毎回、各市が講座等のパンフレットを持ち寄り、情報共有している。公民館活動をするうえで、広報は非常に重要であると感じている。

次第3 報告事項

(2) 公民館事業の報告について

【大久保事業係長】

- ・ 全5館から25の事業を報告させていただく。詳細は資料2をご覧ください。

【渡邊委員長】

- ・ 質問があればお願いします。

【嵯峨山委員】

- ・ 東分館の「東京国立博物館の150年」に参加した。内容、講師も含めて非常に秀逸な講座であった。講師はテレビにも出演される方で、博物館の内情などについてもお話しをいただいた。募集に対して応募者が多かったようだが、応募者全員が受講できたという点も評価している。

次第4 審議事項

公民館事業の計画について

【大久保事業係長】

- ・ 本館の事業は市民アカデミーの準備会を含めて全6事業となっている。詳細は資料をご覧ください。

【松本貫井南分館長】

- ・ 貫井南分館は、成人学校「植物学者 牧野富太郎を知る」と「音楽鑑賞のつどい スプリングコンサート」の2件である。
- ・ 成人学校「植物学者 牧野富太郎を知る」は、来年度のドラマの主人公である植物学者を紹介する講座である。
- ・ スプリングコンサート「東京学芸大学ウインドアンサンブル」はコロナ禍ということもあり、3年越しの計画で、ようやく実現できることとなった。

【鈴木東分館長】

- ・ 市民講座「鬼とは何者か～節分に見る日本の民間信仰」は、節分を前に、日本社会において、鬼とはいかなる役割を果たしているのか、民俗学的な視点から、国の機関の研究者を講師に招いて実施する。
- ・ 成人学校「子育て世代のためのつるし飾りづくり入門」は、第1回から第3回は座学として実技を学び、第4回は野外研修として、瑞穂町のつるし飾り展を見学する。
- ・ 成人学校「ヴァイオリン&チェロの調べ」は、小さな子どもからシニア世代まで、幅広い世代を対象にヴァイオリンとチェロの演奏を楽しむ講座である。実施時間帯は小さな子どもも参加できるよう午後2時半に設定した。
- ・ 市民講座「2050年脱炭素社会への取組み～日本のエネルギーはどう変わっていくのか～」は、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを達成するために、化石燃料から再生可能エネルギーへの変換は非常に大きな課題となっている。日本の現状と世界各国のエネルギー事情を学び、我々の地球環境への意識を高めることを目的に実施する講座である。

【山崎緑分館長】

- ・ 緑分館は4つの講座を計画している。
- ・ このうち、音楽鑑賞のつどい「オペラって楽しい！」は、1年越しの開催となる。オペラの作曲家、オペラ歌手によるオペラ演奏の生ライブを体験した後、解説していただく講座を計画している。

【村山貫井北分館長】

- ・ 貫井北分館は7つの講座を計画している。
- ・ 青年教育事業「しるべお守り・きたまちだるまの配布」は、講座ではなく、貫井北分館に来館している生徒達がこれから受験シーズンを迎えるということで、職員からの応援メッセージとして、折り紙で作っただるまなどを配布する取組みで、開館当初から行っている。
- ・ 成人教育事業「はなみずき学級」と「小金井市とその近郊の歴史、自然、街並みを歩くコースを作る意見交換会」は、準備会を通して多くの意見をいただきながら、ニーズを把握したいと考えている。
- ・ 成人教育事業「ぬくいきた認知症サポーターフォローアップ研修」について、貫井北分館には、花サポーター、保育サポーター、ヤングアダルトサポーター、介護者サポーターと4つのサポーター制度がある。講座等を受講して、学んで終わりではなく、サポーターとして、センターの主催講座を支えてもらうサポーターとして協力してもらう。現在は全部で62名のサポーターがおり、さらなるスキルアップということで、

認知症サポーターフォローアップ研修を予定している。

【渡邊委員長】

- ・ 質問があればお願いします。

【坂内委員】

- ・ 東分館の成人学校「子育て世代のためのつるし飾り入門」は保育付き講座となっているが、保育付き講座の基準のようなものはあるか。募集人数が多い講座など、何かしらの目安は必要ではないか。

【鈴木東分館長】

- ・ 東分館では講座の内容、対象等を踏まえ、保育の有無を判断している。今回は子育て世代を対象としており保育付き講座とした。

【大久保事業係長】

- ・ 本館、貫井南分館、緑分館においても、内容、対象者及び企画実行委員会での意見等も踏まえ、保育の有無を判断している。

【川原委員】

- ・ 市の直営館と委託館とでは、保育の有無や予算執行上のルールは違うのか。

【渡邊庶務係長】

- ・ 直営館は事業ごとに保育士謝礼を予算措置している。委託館は保育士謝礼も委託費として一括計上している。
- ・ 今年度で言えば、保育者謝礼の予算は十分に余裕がある。保育付き講座として実施してもあまり応募がないというのが実情である。

【川原委員】

- ・ 青年教育事業「プラネタリウム解説員が語る星空のお話」にある疑似プラネタリウムの鑑賞とは具体的にそのようなものか。

【村山貫井北分館長】

- ・ 空気で膨らませる可動式のプラネタリウムによる講座で、現職のプラネタリウム解説員を講師に招いて実施する。

【本川委員】

- ・ 青年教育事業「しるべお守り・きたまちだるまの配布」の折り紙は、誰が、どのようにして作っているのか。

【村山貫井北分館長】

- ・ 貫井北分館の職員が作っている。受験シーズンに合わせて30個程度作成し、配布している。

【大久保委員】

- ・ 成人学校「THE BEATLES」は Logo フォームで申込みができるようになっており、申込に係る手数が少ないため、非常に便利だと思う。例えば、市報からHPに誘導できるような仕組みを作り、申込方法を Logo フォームに統一するとか、来館、電話、はがき、メールなどの申込実績を踏まえ、整理できるとよい。

【川原委員】

- ・ 公民館事業に関する情報は、市報や市民掲示板で得ることが多いと思う。市報は紙面が限られていたり、縮切りがシビアだったりすると思うが、資料3のように講座一覧がHPなどでカレンダーのように見ることができるとよい。

【鈴木公民館長】

- ・ 公民館事業の広報活動、周知の方法については、引き続き、工夫して取り組んでまいりたい。Logo フォームは申込み側も市側も手続きとしては非常に簡易ではあるが、一方で、多様な手段で申込みができるようにして欲しいという意見もある。バランスを見て、最適な方法を検討したいと思う。

【吉田委員】

- ・ 市報での周知は効果的である。1月1日号にあるような形で毎回掲載されるとよい。

【本川委員】

- ・ 公民館講座の周知方法は、今後の検討事項としてもよいのではない。

【渡邊委員長】

- ・ 広報活動については、今後の課題として捉えていただきたい。
- ・ 公民館事業の計画について、承認ということによいか。

(異議なし)

5 協議事項

小金井市行財政改革2025及び小金井市公民館中長期計画に基づく公民館緑分館の委託化について

【渡邊庶務係長】

- ・ 資料4「小金井市行財政改革2025及び小金井市公民館中長期計画に基づく公民館緑分館の委託化について」をご覧ください。簡単に説明させていただく。
- ・ 「1 小金井市公民館緑分館 委託化の経緯」として、小金井市行財政改革における公民館委託の経緯、貫井北分館、東分館の委託化の経緯、現状等を記載した。また、令和4年8月に策定した行財政改革2025において緑分館の委託が位置づけられていること、合わせて、公民館中長期計画の中で宿泊設備の利用率向上、野外調理場の存続などの課題及び緑分館の歴史や特徴等も踏まえて委託を進めることなどが記載されていることから、答申書においても同様に記載した。

- ・ 「2 緑分館の現状等」、「(1) 緑分館の建設の経過」として浴恩館の歴史や浴恩館が小金井市青少年センターとして機能していたこと、緑分館が青少年センター機能を継承する形で建設されたことなどを記載した。「(2) 緑分館の主な設備、機能」を整理して記載した。「(3) 緑分館で実施している事業」として、現在、緑分館で実施している主催事業を整理して記載した。
- ・ 「3 緑分館の課題」については、これまで公運審や利用者からの意見などを参考に、現段階で事務局として課題として捉えていることを記載した。特に「(1)の施設、備品の老朽化」については、施設内部を皆さんに見ていただくとわかると思うが、かなり老朽化が進んでいる状況である。本日の会場も暖房が故障しており、照明も切れているような状況である。施設内部、施設周辺を実際に見ていただき、御意見をいただければと思う。
- ・ 「4 目指すべき緑分館の方向性」は職員が考えた緑分館の方向性ということで記載した。本日、皆さんから御意見をいただき、目指すべき方向性を整理したいと思う。

【渡邊委員長】

- ・ それでは、一旦中断して、施設内部及び周辺の見学を行う。

(施設見学)

【渡邊委員長】

- ・ 再開します。施設見学について、各委員から感想をお願いします。

【嵯峨山委員】

- ・ 久しぶりに緑センターに来たが、施設の老朽化が進んでいるという印象を受けた。また、周辺環境も変化していて、敷地と民家がかなり近接している。今後、工事する際などは大変だと感じた。
- ・ 委託に当たって、どこまで整備できるのか。

【本川委員】

- ・ 周辺環境が変わっており、今後、周辺にお住まいの皆さんとの調整なども必要になってくると感じた。
- ・ 使っていない設備、備品などは整理したほうがよい。
- ・ 青少年のための緑分館になるような工夫が必要である。

【吉田委員】

- ・ 緑分館の企画実行委員をやっており、慣れてしまっている部分もあるが、施設が老朽化しており、改修が必要であるだと思う。市の財政状況も含めて、そこが課題だと思う。

【坂内委員】

- ・ 使用していないものは早急に撤去したほうがよい。

- ・ 旧浴恩館である文化財センター、浴恩館公園はそれぞれ別々の担当だとは思いますが、一体的に考えたほうがよいのではないかと。

【川原委員】

- ・ 以前は野外調理場や家事実習室も、子どもと一緒に利用していた。野外調理場や宿泊、テニスコートなど緑分館には、他の公民館ではできないことができる。ぜひ、そのような機能を継続する形でお願いしたい。
- ・ 文化財センターや浴恩館公園など、関係部署と連携を取りながら一体的に活用できるような公民館づくりを進めていただきたい。

【渡邊委員長】

- ・ 財政状況を考えてしまうと、大規模なリフォームを実施することは難しいと思うが、それでも、高所にある蛍光灯をLEDに交換し、空調を修繕するなど最低限の環境は整えていく必要がある。
- ・ 野外調理場については、周辺環境を考慮すると継続するのは難しいように感じた。清里山荘を利用するなど考え方を考えていくことも必要ではないかと。

【大久保委員】

- ・ 事務局として課題と捉えている項目、公運審委員から課題にあがってきている項目を、方向性の中でしっかりと整理したほうがよい。

【川原委員】

- ・ 目指すべき方向性にある産学官民の連携のイメージを伺いたい。

【渡邊庶務係長】

- ・ 目指すべき方向性について、現段階で事務局が考えているイメージを説明する。
- ・ 「地域コミュニティ、産学官民の連携」について、緑分館の周辺には、市立小中学校をはじめ、都立高校、大学、民間企業などの社会資源があり、こういったところとうまく連携しながら公民館活動を行っていくイメージである。
- ・ 「みんなのたまり場としての公民館」は、多世代が集まれる公民館を目指すものである。現在、1階、2階にロビースペースがあって、それなりに利用者はいるようだが、十分に活かしきれていないというのが事務局の印象である。内装や備品を充実させるなど魅力的なスペースを構築していきたいと考えている。
- ・ 「公民館活動のコーディネーター機能」は、公民館と地域、公民館団体と市民を繋げるようなコーディネーターを配置した方がよいと考えている。
- ・ 「青少年センター機能の歴史等を踏まえた講座、立地を生かした講座の実施」については、委託したい際には、これまでの歴史等を踏まえて、青少年を育成する講座や立地特性を生かした講座を実施していただきたいと考えている。
- ・ 「専門性、知識、経験のある人材の確保」及び「継続性のある運営体制の構築」については、すでに委託している貫井北分館、東分館では専門性の高い職員を継続的に配置することで、実績やノウハウ等が蓄積され、高い評価を受けている。緑分館についても同様、専門性等を持った人材を確保し継続性、安定性を持った事業者へ委託し

たいと考えている。

- ・ 「本館及び各分館との連携強化」については、委託館になった場合であっても、これまでと同様に本館及び各分館と横の連携をもって、本館が中心となって公民館全館を一体的に運営していきたいとの考えから記載している。
- ・ 以上、現段階での事務局のたたき台（案）である。

【本川委員】

- ・ 事務局案はソフト部分に重点を置いているが、ハード面も含めた両輪が重要である。
- ・ 改修する場合には当然、予算が必要になってくるが、現状のまま直すのか、新たにリフォームするのか。そのような視点からの検討も必要ではないか。

【吉田委員】

- ・ 方向性の説明があったが、緑分館の特徴は、「青少年センター機能」を継承しているということで、目指すべき方向性というのは青少年事業を充実して実施する程度ではないか。
- ・ コーディネーター機能とあったが、企画実行委員との整合性、関連性が理解できない。

【嵯峨山委員】

- ・ 緑分館の課題の中で、令和9年度、令和10年度に長寿命化改修を予定とあるが、委託後に実施するということか。

【渡邊庶務係長】

- ・ 社会教育関係施設 個別施設計画においてロードマップが示されているが、必ずしも確定したものではない。公共施設等総合管理計画では、現状の施設数を維持したまま全てを改修、建替えた場合、約1,500億円掛かるという試算となっている。長寿命化改修を実施するに当たっては、市の公共施設全体の優先順位の見極めが必要となる。

現在、緑分館の委託は令和6年度を目指しているところであるが、長寿命化改修のタイミングと一致したものではない。建物を大きく改修する場合、億単位の予算が必要となる。委託化に当たっては、まずは、利用に支障が生じないよう修繕を実施したり、利便性が向上するよう備品等を整備することを目指したい。

【本川委員】

- ・ ソフトとハードを充実する必要があると思う。産学官民の連携とあったが、例えば、建築事業者と協力してもらおうとか、社会貢献の一環として協力を申し出てくれる事業者がいるかもしれない。そのような工夫やアイデアも必要ではないか。

【渡邊委員長】

- ・ 全部改修していくというのが理想ではある。どうしても予算の制限等もあり現実的には難しい。今回の答申では、実現可能な落としどころを探りながら議論したいと思う。

【渡邊庶務係長】

- ・ 公運審での意見と市全体の動きとも調整しながら、答申書（たたき台）の更新作業を進めていきたいと考えている
- ・ 本川委員の意見にあった社会貢献の一環として施設を整備してもらおうというのは現実的には厳しい。適正な対価を支払って発注するというのが基本であると考えている。

【坂内委員】

- ・ この施設の状況のままでは委託は難しいと思う。どの程度まで直すのか、そこは整理する必要があると思う。修繕計画、ロードマップは必要ではないか。

【渡邊庶務係長】

- ・ 財政的な裏付けがない中で、修繕計画は難しい。サウンディングの現地説明会を行った中でも施設の老朽化は指摘されており、市としても受け止めている。受託者や利用者等の活動に支障を来たさないよう、市としても責任を持って、取り組んでまいりたい。

【嵯峨山委員】

- ・ 「継続性のある運営体制の構築」とあるが、東分館を委託したときは、過去のデータが市から受託者に引継ぎができておらず、東分館の職員は大変な思いをしていたと記憶している。データのやり取りなどスムーズな移行をお願いしたい。

【鈴木東分館長】

- ・ 7年前のことになるが、当然、市と受託者が共有できるデータと共有できないデータはあると思う。事務の流れも含めて、共有できるものは共有してもらえると継続性は担保されると思う。

【吉田委員】

- ・ 東センターが委託されたときは、委託前に大規模な修繕等が行われたのか。緑センターの改修は実施するのか。

【鈴木公民館長】

- ・ 施設の老朽化について、諸々ご意見をいただいている。予算の根拠がない中で、明確な回答は難しい。建物や設備等の不具合箇所等については市としても把握している。答申に当たっては、具体的にどこをどう直すといったことではなく、より大きな視点に立って、緑分館を委託するに当たり、どのような点に配慮すべきかという意見を答申としていただきたいと考えている。

【川原委員】

- ・ 市の小学校も老朽化している、いつ頃、どの建物を改修するといったロードマップはないのか。
- ・ 宿泊機能や野外調理場はどのような方向性を考えているか。

【渡邊庶務係長】

- ・ 公共施設等総合管理計画を策定する際は、劣化状況等を把握したうえで、施設の状況に応じたロードマップは示しているが、建替え等を確定するものではない。あくまでも、施設をすべて、維持、更新する場合のロードマップと試算を示しているものである。今後、多機能化、複合化、集約化等と合わせて施設ごとに検討を行っていくものであると認識している。
- ・ 宿泊は新型コロナウイルス感染症の影響で使用を中止しているが、再開や中止のルール整理が必要だと考えている。また、宿泊の利用率向上のためには、浴室や研修室の畳等の修繕が必要だと考えているところであるが、委託後は宿泊を伴う主催講座の実施なども検討していただけるとよい。

【渡邊委員長】

- ・ たくさんの御意見をいただいた。まずは、本日の意見等を参考にして答申書たたき台（案）の更新作業を進めていただきたい。

次第6 その他

(1) 公民館施設の有料化について

【渡邊庶務係長】

- ・ 資料5「公民館登録団体及び社会教育関係団体の公民館利用状況調べ」は前回、坂内委員からの資料要求に基づくものである。資料の主旨としては、第33期公運審における受益者負担の議論の中で、「社会教育関係団体等は10分の3減免」と示されていたことから、実際にはどれくらいの社会教育関係団体が利用しているのかを調査した資料である。
- ・ 令和4年11月1日現在、公民館登録団体は1,697団体あり、社会教育関係団は100団体となっている。令和令和元年度から令和3年度の利用状況を調査し、令和3年度の利用状況を見ると、公民館登録団体のうち1,093団体、約65%の団体が利用している。このうち、社会教育関係団体は38団体、約2.2%の利用に留まっている。
- ・ これまでの公運審の議論にもあるとおり、有料化の議論は、減免対象の検討、歳入額、使用料徴収に係るコスト、使用料の用途などを勘案して判断する必要がある。
- ・ 現在、1都3県約30の公民館設置市に調査を実施しており、今後、調査結果等も踏まえ、改めて検討いただきたいと考えている。

【吉田委員】

- ・ 各館の公民館使用団体の数と合計が一致しないのはなぜか。

【渡邊庶務係長】

- ・ 前提条件にあるとおり、複数の施設を利用している団体があるため合計数は一致しない。

次第6 その他

(2) 今後のスケジュールについて

【渡邊庶務係長】

- ・ 資料6「令和5年度 公民館運営審議会スケジュール（案）」をご覧いただきたい。第36期公運審の委嘱期間は令和5年9月8日までとなる。10月以降は第37期委員となる。開催日は水曜日で午前10時から開催となる。
- ・ 次回は令和5年2月10日（金）、三者合同会議となる。時間、内容等は別途連絡する。

【渡邊委員長】

- ・ その他質問等があれば、願います。

【本川委員】

- ・ 本日、オンラインとのハイブリッド会議となった理由、経過を伺いたい。

【渡邊庶務係長】

- ・ 昨日、大久保委員より欠席の連絡があり、オンラインであれば参加できるとのことであった。連絡を受けて、講座管理システムの設備機器を転用して、急遽、試験的に運用したものである。事後報告となってしまい申し訳ありません。次回以降、ハイブリッド会議とするかは未定であるが、事務局としては会議を円滑に進めるためにも、対面での開催が望ましいと考えている。

【本川委員】

- ・ 事情は理解した。オンラインでの開催を認めるのであれば、本日欠席している委員の中にも参加できる方がいたかもしれない。公運審全体で共有できるように願いたい。

【渡邊庶務係長】

- ・ 承知した。

【渡邊委員長】

- ・ 以上で第12回審議会を終了する。

— 了 —

第36期小金井市公民館運営審議会第12回審議会

とき：令和5年1月11日（水）午前10時

場所：小金井市公民館緑分館学習室

次 第

1 開会

2 第11回審議会の会議録の承認について

3 報告事項

(1) 東京都公民館連絡協議会 委員部会の報告について（資料1）

(2) 公民館事業の報告について（資料2）

4 審議事項

公民館事業の計画について（資料3）

5 協議事項

小金井市行財政改革2025及び小金井市公民館中長期計画に基づく公民館緑分館の委託化について（資料4）

6 その他

(1) 公民館施設の有料化について（資料5）

(2) 今後のスケジュールについて（資料6）

7 閉会

[第 3 6 期小金井市公民館運営審議会 第 1 2 回審議会資料]
令和 5 年 1 月 11 日 (水) 公運審委員 吉田 孝

令和 4 年度第 8 回都公連委員部会 運営委員会 (定例会)

日 時 : 令和 4 年 1 1 月 2 4 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0
会 場 : 国分寺市・本多公民館
参 加 : 1 1 市公運審委員 記録 : 東大和市

1、協議事項

1) 令和 4 年度第 7 回 (前回) 委員部会運営委員会議事録
了承

2) 第 59 回東京都公民館研究大会

日 時 : 2 0 2 3 年 2 月 4 日 (土)

会 場 : 小平市 (中央公民館、福祉開館)、西東京市 (柳澤
公民館)、国分寺市 (本多公民館)

開催方法 : 第一~四課題別集会ごとに対面、オンライン形式
で開催 (コロナ禍の状況により、開催方法を変更す
る場合あり)

今回、本委員会は第四課題 (本多公民館) 担当

役割分担 : 当日の司会、受付、写真、記録各担当確認

テーマ : 「コロナ禍を乗り越え進化する公民館」(案)

3) 公民館調査の調査項目再確認

公民館施設、使用料、予約、審議会構成、リモート環境など

2、情報交換

各市より当日配布資料に基づき、公民館活動の紹介および報
告

次回 : 第 9 回 : 1 2 月 2 2 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 本多公民館

以 上

〔 第 36 期小金井市公民館運営審議会 第 12 回審議会資料 〕

令和 5 年 1 月 11 日（水） 公運審委員 吉田 孝

令和 4 年度第 9 回都公連委員部会 運営委員会（定例会）

日 時：令和 4 年 12 月 22 日（木） 14：00～16：10

会 場：国分寺市本多公民館

参 加：10 市公運審委員 記 録：日野市

1、 協議事項

1) 令和 4 年度第 8 回（前回）委員部会 運営委員会 議事録了承

2) 第 59 回東京都公民館研究大会（以下確認）

日 時：2023 年 2 月 4 日（土）

会 場：小平市、西東京市、国分寺市

役割分担：司会、受付、写真、記録係

参加人員：現在集計中、次回の運営委員会で確定

3) 公民館調査の項目確認

公民館施設、使用料、予約、審議会構成、リモート構成など

・ 公衆 Wi-Fi の設置館数 公民館数（設置館）

昭島市：1（1）、町田市：1（1）、小金井市 5（5）、小平市

11（2）、日野市 2（2）、国分寺市 5（1）、国立市 1（1）、

狛江市 2（2）、東大和市：5（1）

2、 情報交換

各市より配布された市報、「公民館だより」の 12 紙、誌に基づき公民館
活動の紹介および報告

次回（第 10 回）運営委員会：令和 5 年 1 月 26 日（木）本多公民館

以 上

公民館事業の報告

公民館名	事業名		頁	
本館	高齢者学級「生きがい広場」		1～2	
	市民講座「親子でつくるおりがみリース講座」		3	
貫井南分館	高齢者学級「けやき学級」		4～5	
	市民講座	「怒る人も怒れない人にも役立つ大人のアンガーマネジメント講座」	6	
		「山本有三を知る」	7	
	成人学校	「ノルディック・ウォークを始めよう」	8	
		「楽しくトレッキング ～都民の森・紅葉編～」	9	
		「水引細工で彩る 松竹梅の正月飾り」	10	
東分館	市民講座	「東京国立博物館の150年～過去からの贈りものを未来へ～」	11	
		「日本てくてくしめかざり探訪～土地の恵みと祈りのかたち～」	12	
	成人学校「宇宙開発の最前線」		13	
	子ども子育て支援講座「ひがし赤ちゃんCafe」		14	
	男女共同参画講座「コミュニケーション力アップ講座－雑談力とアサーションを学ぶ－」		15	
	緑分館	国際交流イベント「激しく、楽しく、鮮やかなモンゴルの世界」		16
陶芸入門「陶芸入門教室」		17		
成人学校		「多摩の縄文時代」	18	
		「「終活」について考えてみませんか？」	19	
貫井北分館	市民講座 一般教養や専門的知識「これからのエネルギーと私たちの生活」		20	
	成人学校	地域研究講座	まちの先生から学ぶ「はじめてのラッピング」	21
			「秋のこがねい散歩～農工大通り～」	22
	陶芸入門「陶芸入門教室」		23	
	青少年教育講座	世代間交流の推進 防災食を活用！作って楽しむ「きたまち食堂」Part2		24
		健全育成事業 「マンガdeトーク」～ボクらの時代のヒーロー像～		25
	若者コーナー 環境づくり「文化祭・学園祭ポスター」掲示		26	
	図書館貫井北分室公民館貫井北分館連携事業 「死生観」を語り合ってみませんか？		27	

本館

高齢者学級

「生きがい広場」

目的 地域で高齢期を有意義に過ごし、生きがいをみつけ、仲間作りをすることを目的に、様々な内容の学習を共に学ぶ場をつくる講座とする。

日程・内容・講師 別紙「日程表」のとおり

ところ 公民館本館ほか

募集方法 市報4月15日号 チラシ ポスター
月刊こうみんかん4月号 HP
ツイッター
申込多数のときは抽選 往復はがき

対象 65歳以上の市民

人数 募集 20人（応募54人）
受講 20人（男性5人、女性15人）
延べ参加者 253人



担当企画実行委員 近江 淳、大木 健至、菅沼 七三雄、照井 耕之助、
藤原 美知江、武藤 美奈子

担当職員 近藤 英里子、大久保 裕広

担当職員感想 今年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響が懸念されたが、全15回野外学習を含め予定通り実施することができた。受講生はソーシャルディスタンスも保ちながらどの講座も積極的に参加下さった。回を追うごとにコミュニケーションや笑顔も増え、嬉しく思いました。

参加者感想

- どの講座も満足できました。これからも素晴らしい企画をして下さい。コロナ禍の中、三密も守られ参加しやすい環境でした。
- コロナで家で静かに過ごすしかない時に、気力・体力が落ちるのを痛感していました。このような時に生きがい広場に参加させて頂けたことは本当に有難いことでした。色々バラエティーに富んだ企画を考えて下さり、感謝しかありません。
- とても楽しく初めて友人もできました、ありがとうございました。
- 自分が知らない分野の知見を広めることができたこと、野外学習時等仲間とふれあいができた事が良かったです。

令和4年度 高齢者学級「生きがい広場」日程表

回次	日程	時間	内容	講師
1	5/10	10~12	開講式、オリエンテーション and 交通安全教室	警視庁小金井警察署交通課
2	5/24	10~12	【体育】パラリンピック競技ボッチャに挑戦!	元都立小金井特別支援学校教諭 矢野典嗣さん
3	5/31	10~12	【生活と環境】エシカル消費とSDGs	未来創造サポート代表 寺島義智さん
4	6/14	9~12	【遠足】六義園	
5	6/28	10~12	【自然環境】身近すぎて知らなかった!?公園緑地の役割と魅力	公益財団法人 東京都公園協会 照井進介さん
6	7/12	10~12	【健康】フレイル予防とシニア筋力アップ教室	介護予防主任運動指導員 松山美代子さん
7	7/26	10~12	【暑気払い】落語を楽しみましょう	落語家 柳家花いちさん
8	9/13	10~12	【文芸】俳句に挑戦! →<変更>筆ペンで己書を楽しもう!	俳人 小倉一郎さん —(俳号:蒼蛙(そうあ))— 日本己書道場公認師範 渡辺早苗さん
9	9/27	10~12	【防犯】消費者被害について	小金井市経済課 消費生活相談員
10	10/11	10~12	【歴史】北条義時について	小金井市鎌倉歴史文化交流館学芸員 山本みなみさん
11	10/25	9~17	【野外学習】山梨忍野八海と河口湖大石公園 (大型バス)	
12	11/8	10~12	【音楽と映像】昭和の歌と小金井の今昔	小金井市観光まちおこし協会 木村秀穂さん
13	11/22	10~12	【健康】お口の健康について	サクラ歯科医院院長 松本亨さん
14	11/29	10~12	【美術】おとなのぬりえ教室	サクラクレパス認定おとなのぬりえ講師 須貝光一郎さん
15	12/13	10~12:30	閉講式、まとめの会 and ハンドベル演奏会	レインボーベルの皆さん

★第1・第3火曜日以外の火曜日

※原則10時から正午までですが、開講式・野外学習・閉講式は時間が変更となります。

本 館

市民講座	「親子でつくるおりがみリース講座」
------	-------------------

目 的 おりがみを使って。色鮮やかなリースをつくり親子の交流を深めることを目的とする。

日 時 令和4年12月4日(日)午前10時～正午

講 師 渡辺 由美子さん(クラフト脳トレーナー)

募集方法 令和4年11月17日(必着)までに、往復はがきまたはEメール(1家族1通)に住所、お子様の氏名(学年)、保護者氏名、年代、電話番号を明記し、公民館本館「親子でつくるおりがみリース講座」係(住所〒184-0004小金井市本町2-15-11または、メールアドレス:k020499@koganei-shi.jp)

対 象 市内在住、在学の小学生とその保護者

人 数 募集11組22人 応募16組32人 受講10組20人
(男性3人、女性17人、そのほか0人)

参加費 無 料

企画実行委員 大木 健至

担当職員 金子 康幸

担当者感想 講師に指導してもらいながら、親子でおりがみを折る姿がとても印象的で、作品も様々な色合いのリースができていました。
また、機会があれば、親子での講座を継続できればと思っております。

参加者感想

- (保護者) 親子で楽しい時間になりました。ありがとうございます。
- (保護者) 進行ペースも丁度よく親子で楽しめました。ありがとうございました。
- (保護者) 子どもと楽しく時間を過ごせました。家でも作ってみます。
- (保護者) 楽しいおり紙教室でした。うまく折るコツやかわいく見えるコツをおしえていただき勉強になりました。
- (子ども) おしえ方もうまくて楽しくできてうれしかったです。家でもできたらいいなと思いました。また、こういうきかいに参加してみたいと思いました。ありがとうございました。
- (子ども) 家でおりがみクリスマスリースをします。
- (子ども) こんなにむずかしいそうなおりがみリースがこんなにたのしくつくれて、たのしかったです。
- (子ども) すごくわかりやすかったです。

貫井南分館

高齢者学級	けやき学級
--------------	--------------

目的 高齢者の置かれた現状と課題を見据え、「生きがいのある毎日のために」をテーマに、共に学び、行動し、社会参加のあり方を考え、生きがいを見出す。

日程・内容・講師 別表のとおり

場 所 貫井南分館学習室A B



募集方法 市報4月15日号、月刊こうみんかん4月号、チラシ、ポスター、市ホームページ 申し込み多数のときは抽選（往復はがきで応募）

人 数 65歳以上の市民20人 応募31人 受講20人（男性4人、女性16人）延べ参加者 301人 出席率 89%
平均年齢：79.9歳（男女別：男性81歳 女性79.6歳）

担当企画実行委員

阿部 光子、今村 誠、大野 芳輝、金ヶ江博紀、齊藤美恵子、高橋 陽子

担当職員 伊藤 修、松本 浩明

担当職員感想 昨年と同様に、コロナ感染拡大予防対策を採りながら学級生20人での開催となった。机1脚に1人の配置で、なかなか学級生同士のコミュニケーションが取りづらいうち、5月下旬にコミュニケーションを第一に取る目的で「遠足」（江戸東京たてもの園）に出かけたことにより学級生同士のコミュニケーションが図られた。また、学級生念願の野外学習「柴又帝釈天散策と寅さん記念館」に行けたことは大変有意義であった。

参加者感想

- 係員の気配りが良く、大変良かった。
- 毎回とても楽しく過ごさせて頂き感謝です。終わってしまったのがさみしいです。有難うございました。班の皆さんも良い方ばかりでした。
- 良い仲間に出会い楽しい時間を過ごさせて頂き、ありがとうございました。

令和4年度けやき学級日程表

回	月 日	曜	内 容	講 師	予算
1	5/18	水	開講式「オリエンテーション」	—	
2	5/25	水	遠足「江戸東京たてもの園」	—	
3	6/1	水	川崎平右衛門	花木 知子 (郷土の森博物館学芸員)	①
4	6/8	水	皆さんで歌いましょう	木下 容子 (東邦音楽大学准教授)	②
5	6/15	水	スポーツウエルネス吹矢に挑戦	杉山 勝英 (日本スポーツウエルネス 吹矢協会小金井支部長)	
6	7/6	水	俳句でリフレッシュ	守屋 明俊 (俳人協会評議員・ 俳誌「閨」代表)	③
7	7/13	水	楽しい脳トレ教室	小林 雅一 (世田谷シニア学園講師)	④
8	7/20	水	アンサンブル小金井による 管楽器演奏	アンサンブル小金井	⑤
9	9/7	水	A I と私たちの暮らし	久保田 直行 (東京都立大学教授)	⑥
10	9/14	水	NICT情報通信研究機構本部展示室 ツアー	—	
11	9/21	水	映像で見る小金井の歴史	多田 哲 (文化財センター学芸員)	
12	10/5	水	世界情勢「世界の動きと日本」	茂木 貴 (国際情勢アナリスト)	⑦
13	10/12	水	健康体操	東急スポーツ オアシストレーナー	⑧
14	10/19	水	文学「山本有三」	山田 有策 (東京学芸大学名誉教授)	⑨
15	10/26	水	野外学習「柴又帝釈天散策と寅さん 記念館」	—	
16	11/2	水	落語を楽しもう	柳亭こみち (落語家)	⑩
17	11/9	水	閉講式	—	

(敬称略)

時間はいずれも午前10時から正午まで

野外学習は、おおむね午前8時30分から午後5時まで

は計画当初から変更となった日程

貫井南分館

市民講座

「怒る人も怒れない人にも役立つ 大人のアンガーマネジメント講座」

目的 人の感情として無くすことは出来ない“怒り自分の怒り方を見直し、普段のコミュニケーションに役立てる。

日程 令和4年11月16日（水）午前10時～正午

内容 【怒りの機能】、【私たちが怒らせるものの正体】など“怒りのメカニズム”について学び、最近自分が怒ったことを例として分析・対処法を考える

講師 安藤 生奈さん（アンガーマネジメントコンサルタント）

場所 公民館貫井南分館 学習室A・B

参加費 無料

募集方法 市報10月15日号、月刊こうみんかん10月号、チラシ、ポスター、市HP、ツイッター

先着順、電話、Eメールまたは直接貫井南分館窓口まで。

対象 市内在住・在勤・在学の方

人数 募集 20人 応募21人（男性3人、女性18人）

受講 18人（男性3人、女性15人） 参加率90%

参加年代 30代3人、40代3人、50代6人、60代4人、70代3人

担当企画実行委員 高橋 陽子、斎藤 美恵子

担当職員 永嶋 汐美

担当職員感想 夏休み前に開催した子ども向け講座から、大人向けの講座を開催したところ、高齢の方から子育て世代まで幅広い年代に興味をもってもらうことができた。

年代関係なく、自分の怒りの根底が何かという気づきと今日から怒り方を変えていくことができるきっかけの一步を講師から学んでいた。

講座終了後も講師の話を熱心に聞く様子から、コミュニケーションに悩み、心理的な学びを切実に必要としている人が多くいることを感じた。

参加者感想

・具体的にわかりやすい講義をしてくださり良かったです。参考になりました

・思った以上に勉強になる内容でした。できれば夫婦で参加したいと思いました。夫もアンガーマネジメントに興味はありますが、なかなか時間が取れず、子育てで悩みが多く役立つ考えが得られたと思います。

・怒りについて知れたので本当に良かったです。助かりました。ありがとうございました。

・とても分かりやすい講座でした。アンガーマネジメントについて更に学ぼうと思います。



貫井南分館

市民講座

山本有三を知る

目的 小金井市近隣の作家の人となりや作品、山本有三記念館などを紹介することで文学への興味、本への愛着を持ってもらう。

とき・ところ・内容

- 1 1月17日（木）「作家・山本有三と三鷹の家の来歴」
〃 24日（木）「三鷹時代の山本有三ー作家及び文化人としての活躍ー」
いずれも午前10時から正午まで、公民館貫井南分館学習室ABで。

講師 三浦 穂高さん（三鷹市山本有三記念館学芸員）

募集方法 市報11月1日号 月刊こうみんかん11月号、ホームページ、ポスター、チラシ、ツイッター

応募・受講者人数等

募集人数 20人（申込順） 応募人数 12人
受講生 11人（男性8人、女性3人） 受講率91%
参加年代 60歳代3人、70歳代6人、80歳代1人、90歳代1人

担当企画実行委員 金ヶ江博紀

担当職員 松本 浩明

職員感想

作家・戯曲家としてだけでなく、国語教育のために尽くしたことなど精力的に活動していたことのほか、以外にも東京大阪朝日新聞に連載した「女の一生」の挿絵が中村研一、三鷹の家を紹介したのが小金井の恩田など意外なところで小金井も絡んでいることを知ることができ有意義な講座でした。

参加者感想

- 作家と建物、両面にわたって分かり易いお話しで、とても興味深く聞くことができました。有三が生きた時代、建物が流転した時代の様子も分かり厚みのある内容だった。
- 三鷹の邸についてだけでなく、作品数点についても詳しく話して頂き、大変満足でした。また、人物像にも迫り、興味の湧くものでした。
- 山本有三と言えば「路傍の石」くらいしか知らなかったが、この講座を聞いて、色々なことが分かりました。三鷹市山本有三記念館へ行ってみたいと思います。
- 大変詳しく説明されて本当に楽しい講座でした。

貫井南分館

成人学校

ノルディック・ウォークを始めよう

目的 歩きの中でポールを使用し、普段使わない筋肉を刺激し、全身を使っでの運動を行うことで健康体を心身共に維持することと運動志向の向上を目指す。

とき・ところ・内容

令和4年10月29日（土）午前10時～正午
都立武蔵野公園内

【お話し】・ノルディックウォークとは

- ・普通に歩くのとどう違うか
- ・なぜ今、ノルディック・ウォークなのか

【実技】・ポールの長さの調整 ・ウォーミングアップ

- ・ポールの着き方の基本練習 ・公園内を歩く



講師 芝田 竜文さん（東京都ノルディック・ウォーク連盟代表理事）

募集方法 市報10月1日号 月刊こうみんかん10月号、ホームページ、ポスター、チラシ、ツイッター

応募・受講者人数等

募集人数20人（多数抽選） 応募人数13人 受講生11人（男性5人、女性6人）
受講率85% 参加年代 60歳代4人、70歳代5人、80歳代2人

担当企画実行委員 金ヶ江 博紀 **担当職員** 松本 浩明

職員感想

天候に恵まれ、秋晴れの中の実施で指導方法も良く、参加者は気持ちよくポールを使っでのウォーキングを楽しんでいた。小金井市はこのような運動を行う公園が多くあることに改めて、環境が良いことに気づかされた。

参加者感想

- 説明も良かったが、個人的に見てもらい直す点を教えてもらえたのは良かった。日頃のウォーキングをこれにしてみたいと思いました。
- 昭和レトロな私ですが、ご指導のおかげで楽しい学びのひと時となりました。これからも歩くときに気を付けたいと思います。
- 歩きにくく感じていたので、大変有難い機会でした。
- お天気に恵まれ、全身運動で心も身体もスッキリしました。楽しかった。
- ご指導の内容も良く分かり、額に汗が出る良い運動になりました。主人と一緒に出掛けたのは久々。病院に行く以外の楽しい運動でした。

貫井南分館

成人学校

「楽しくトレッキング ～都民の森・紅葉編～」

目的 本格的な登山ではなく、初歩的なトレッキングを学びながら、同じ趣味の仲間づくりを目的とする。

日時 1日目 令和4年11月2日(水)
午後2時から午後4時
2日目 令和4年11月8日(火)
午前8時から午後5時



内容 都民の森が提示している6つの散策コースの中から、三頭沢と野鳥の森コースを選択。森林館を出て途中、滝見橋から三頭大滝を見学し、その後回廊の路を通り鞆口峠を経て、森林館へ戻る。

講師 越前屋 博さん(北多摩山の会)

場所 1日目 公民館貫井南分館 学習室A・B(事前学習)
2日目 都民の森(西多摩郡檜原村数馬7146)(トレッキング)

募集方法 市報10月1日号、月刊こうみんかん10月号、チラシ、ポスター、ホームページ、ツイッター

対象 市内在住、在勤、在学の18歳以上で2時間以上歩ける方。
2日間参加出来る方。

応募・受講者人数等 募集 10人(多数抽選) 応募 24人
受講 10人(男性3人、女性7人)

年代別受講者人数 50代 1人、60代 3人、70代 5人、80代 1人

受講者平均年齢 全体：70.3歳
(男性3人：67歳、女性7人：71.7歳)

担当企画実行委員 齊藤美恵子

担当職員 伊藤 修、永嶋 汐美

担当職員感想 今年度は事前学習とトレッキングの2日間参加できる方としたが、応募は2倍を超えた。トレッキング当日は天候にも恵まれ、現地の紅葉も見頃だったので、受講生は楽しめた様子だった。

参加者感想 ○本当に楽しく歩けました。ありがとうございました。
○真快晴の天気にもぐまれ、紅葉も最高調の時期に自分としては初めてのトレッキングを体験出来てとても満足しました。スタッフの皆さんのおかげで大成功だったと思います。

貫井南分館

成人学校

「水引細工で彩る 松竹梅の正月飾り」

目的 市内で活動する講師を招き、ものづくりを通して地域コミュニケーションを図る。

日程 令和3年12月4日（土）午前10時～正午

内容 水引を使って水引細工を結び、正月飾りを製作する。

講師 小松 慶子さん（水引デザイナー/紙単衣主宰）

ところ 公民館貫井南分館 学習室A・B

参加費 600円（材料費）

募集方法 市報11月15日号 月刊こうみんかん11月号 チラシ 市ホームページ Twitter

申込多数の場合、抽選

電話または直接貫井南分館窓口まで

人数 募集 10人 応募42人（男性1人、女性41人）

受講 9人（女性9人） 参加率90%

参加年代 9歳以下 1人 40代 1人 50代 3人

60代 1人 70代 3人

担当企画実行委員 阿部 光子

担当職員 永嶋 汐美

担当職員感想

正月飾りということで、講座応募に多くの反響があったようだった。皆さんほぼ初めて水引細工結びに触れるということで、講師の手元を映す映像を見ながら真剣に製作することができていた。製作中、コロナ禍になって久しぶりに人と話しながらモノづくりができたという感想があった。

参加者感想

- ・季節の飾り、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・またさんかしたいです。作り方のせつ明がていねいだったので、とてもわかりやすかったです。もっと、むずかしいものや、いろいろなものに、挑戦したいなと思いました。



講座中の様子



完成作品



講師作品

東 分 館

市民講座

東京国立博物館の150年～過去からの贈りものを未来へ～

目 的 令和4年に創立150年を迎えた東京国立博物館は、日本でもっとも伝統ある博物館です。設立からの歴史を学び、文化財の保護と継承の大切さを改めて知ることを目的とします。

日程・内容・講師

回	日程	内 容	講 師
1	10/25	トーハク150年の歴史とコレクション	佐藤 寛介さん（東京国立博物館学芸研究部列品管理課登録室室長）
2	11/8	未来へつなぐ、保存と修理の現場	和田 浩さん（東京国立博物館学芸研究部保存修復課長）

場 所 公民館東分館 集会室A・B

募集方法 市報9月15日号、月刊こうみんかん9月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
多数抽選、Eメールまたは往復はがき

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 24人 応募 38人
受講 38人（男性13人、女性25人）

担当企画実行委員 渡部 靖

担当職員 浅香 佳代子

担当者感想 新型コロナの感染状況が落ち着いた状況を鑑みて、定員を拡大しました。博物館の節目の年を機に、国民の宝である文化財について専門家の方から貴重なお話を聞き、未来へ継承していくことの大切さを学ぶことができました。

参加者感想

- 今までと鑑賞する視点が異なり変わりました。東京国立博物館の専門家お二人の文化財に対する熱量に圧倒された二日間でした。
- 普段、博物館、美術館を鑑賞するだけでしたが、この2回の講座を受けて文化財を見せること、保存、修理の大切さ、困難さを知ることが出来ました。このような大変なご苦勞をも含めて文化財を鑑賞していきたいと思えます。
- 高度なお話を、思った以上に分かりやすく教えてくださってありがとうございます。
- 変興味深く拝聴いたしました。文化財の保存と修理の関係が理解できました。

東 分 館

市民講座

日本てくてく しめかざり探訪～土地の恵みと祈りのかたち～

- 目 的** 日本では古くから、民間信仰が根付いています。なかでも最も大切な行事とされる正月は多種多様な風習があり、習わしは土地により大きく異なります。年神様をお迎えするための目印である「しめかざり」をテーマに、日本人特有のものや自然を大切にす素朴な信仰心や、地域ごとの特色について学習します。
- 日 程** 11月16日（水） 午前10時から正午まで
- 講 師** 森 須磨子さん（しめかざり研究家・グラフィックデザイナー）
- 募集方法** 市報10月15日号、月刊こうみんかん10月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
申込順 電話または直接
- 対 象** 市内在住・在勤・在学の方
- 人 数** 募集 25人 応募 31人
受講 26人（男性6人、女性20人）
- 担当企画実行委員** 角田 麻美、渡辺 靖
- 担当職員** 浅香 佳代子
- 担当者感想** 新型コロナの感染状況が落ち着いた状況を鑑みて、定員を拡大しました。しめかざりを通して日本各地の風土、風習を知ること、改めて小金井の習俗に興味を持つ機会になりました。幅広い年齢層の方が集まり、参加者同士の会話が自然に生まれたことも大きな収穫でした。
- 参加者感想**
- しめかざりと輪かざりを飾る意味を知り、しめかざりの大きい力を今年から心にとめて新年を迎えたいと思います。
 - 初めて見るものがたくさんあって本当に楽しかったです。輪かざりを10個ほど作って、飾りたいと思います。スライドもとても素敵で、目のお正月でした。ありがとうございました。
 - 興味が同じ方たちと時を過ごすことは楽しいです。先生の「しめかざり」への愛、情熱を感じます。私も少しずつ探訪をはじめてみたくなりました。
 - しめかざりの種類や、地方の特色のあるしめかざりを解説していただき大変勉強になりました。
 - 転勤族で住む所、住む所、お正月のしめかざりが違うことがずっと気になっていました。知らないことも多く楽しかったです。

東 分 館

成人学校	宇宙開発の最前線
-------------	-----------------

目 的 民間人が宇宙旅行に出かけるなど、以前に比べると宇宙は私たちの生活のなかで身近な存在になりつつあります。宇宙開発の最前線の取り組みについて学ぶことを通して、科学技術への興味・関心を喚起することを目的とします。

日程・内容・講師

回	日 程	内 容	講 師
1	11/25 (金)	急速に進展する宇宙開発	安田 幸一さん (読売新聞東京本社編集局科学部長)
2	12/13 (火)	深宇宙に挑む～遙かなる探査活動の最前線～	

※いずれも、午前10時から正午まで

場 所 公民館東分館 集会室A・B

募集方法 市報10月15日号、月刊こうみんかん10月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
申込順、電話または直接

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 24人 応募 28人
受講 23人 (男性15人、女性8人)
延べ参加者 41人

担当企画実行委員 渡部 靖

担当職員 倉本 恵子

担当職員感想 開催日を急遽変更することとなりましたが、新聞記者の講師をお招きし、ご自身の経験談を交え、具体的な事例を紹介しながら宇宙開発についての理解を深める講座となりました。参加者の方々からの質問も多数寄せられるなど、熱心に受講される姿が印象的でした。

参加者感想 ○タイムリーな話題(テーマ)を専門家に分かりやすく解説していただく今回のような講座はありがたいです。

東 分 館

子ども子育て 支援講座	ひがし赤ちゃんC a f e
------------------------	-----------------------

目 的 第一子が1歳未満の子どもをもつ保護者を対象とした学びの場の提供と、地域の仲間づくりを目的とします。

日程・内容・講師

回	日程	内 容	講 師
1	7/7	オリエンテーションと図書館案内	協力:図書館東分室職員
2	7/21	やさしくて美味しい離乳食	野村 泉さん (栄養士)
3	9/15	赤ちゃんを守る、アウトドア流防災術	あんどう りすさん (アウトドア防災ガイド)
4	10/6	簡単・かわいい手作りおもちゃ	松山 映都子さん (保育士)
5	10/20	コンディショニングヨガで気分転換	竹内 恵津子さん (健康運動指導士)
6	12/1	赤ちゃんの応急救護と懇親会	小金井消防署職員

※いずれも午前10時から11時30分まで

募集方法 市報6月15日号、月刊こうみんかん6月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
申込順 電話または直接

対 象 市内在住・在勤・在学で、第一子が令和3年8月1日以降に誕生した保護者と子ども

人 数 募集 8組 応募 8組
受講 8組 (男性4人、女性12人) 延べ参加者76人

担当企画実行委員 角田 麻美、宮國 愛里、矢部 響子

担当職員 浅香 佳代子

担当者感想 講座終了後に参加者がサークルを作り、今後も交流が続くことになりました。公民館としても、引き続き見守っていきたいと思います。

参加者感想 ○このような内容もりだくさんの講座を無料で受けさせていただき、とても参考になりました。ママ同士の交流が深まったのも嬉しいです。
○学びながら地域の人と知り合うことができ、楽しかったです。
○もっと皆さんとお話しする時間があれば、なお良かったです。

東 分 館

男女共同参画講座

コミュニケーション力アップ講座 ー雑談力とアサーションを学ぶー

目 的 小金井市では男女共同参画社会の実現のため、計画期間を令和3年度から7年度までとした、第6次男女共同参画行動計画が策定されました。その中の基本目標Ⅱにおいて「男女がともに、家庭生活、仕事、地域活動等、あらゆる分野に参画し、一人ひとりがその能力を十分に発揮し、自分らしい生き方に対して主体的な選択を可能とする」ことの重要性が示されており、男女共同参画社会の構築には、コミュニケーション能力の習得が不可欠です。より良い人間関係づくりのポイントを学習することを通して、男女共同参画社会の実現への関心を高めることを目的とします。

日程・内容・講師

回	日 程	内 容	講 師
1	9/13	ロジカルシンキング～伝えたいことは何？～	西部 直樹さん (元東京大学非常勤講師)
2	10/11	雑談力と傾聴技術～心地良い関係づくりは、何気ない会話から生まれる？～	
3	11/22	アサーション～自分も相手も大切に ^{アイ} する自己表現、Iメッセージとは？～	

※いずれも火曜日、午前10時から正午まで

場 所 公民館東分館 集会室A・B

保 育 あり（延べ保育人数 9人）

募集方法 市報8月15日号、月刊こうみんかん8月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
申込順、電話または直接

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 24人 応募 21人
受講 21人（男性2人、女性19人）
延べ参加者 49人

担当企画実行委員 宮國 愛里、矢部 響子

担当職員 倉本 恵子

担当職員感想 理論と実践を交えながらワークショップ形式で開催し、受講生の方々が活発に意見交換を行う姿が非常に印象的でした。自身も相手も大切に^{アイ}するコミュニケーションスキルを学ぶ講座となりました。

参加者感想 ○ネットで自由に発信が出来、寛容さが失われがちな昨今にあって、日常のやり取りの中でアサーティブネスを学ぶことは大変重要なことだと改めて認識しました。

緑分館

国際交流イベント	激しく、楽しく、鮮やかなモンゴルの世界
-----------------	----------------------------

目的 国際化の時代に、外国について学び、歴史や文化を知ることにより、その国に対する理解を深める。

日程・内容

回	日程	内容
1	10月8日(土) 午後2時～4時	ヤギ的モンゴル人とヒツジ的日本人
2	10月10日(月・祝) 午後2時～4時	地政学で考えるモンゴルと日本
3	10月15日(土) 午後2時～4時	草原から生まれたいのちの音楽
4	10月22日(土) 午後2時～4時	パワフルでカラフルなモンゴルのアートシーン

講師 大西 夏奈子さん (フリーランスライター・編集者)

場所 公民館緑分館 学習室A・B・C

募集方法 市報9月1日号、月刊こうみんかん9月号、ポスター、チラシ、市HP
公民館ツイッター
往復はがきまたはメール (申込多数のときは抽選)

対象 市内在住、在勤、在学の方

人数 募集 30人 応募 36人
受講 36人 (男性18人、女性18人)
延べ参加者 102人

担当企画実行委員 赤尾 八朗、大蔵 芳夫、苅込 美津代、後藤 愛子

担当職員 山本 ひろみ

参加者感想 モンゴルの景色や多くの資料、たくさんの写真を交えて生き生きと内容が伝わってきました。とても引き込まれるお話で、まるでその場にいるようなリアルさも感じました。

緑 分 館

陶芸入門	陶芸入門教室
-------------	---------------

目 的 陶芸を基礎から学び、体験し、その魅力の一端に触れる機会とする。また、講座を通し地域住民との交流を広げる。

日 程 9月7日から11月16日（全11回）
毎週水曜日 午前10時から正午

講 師 高木 幹彦さん（陶芸家）

場 所 公民館緑分館 学習室ABCもしくは陶芸窯

参加費 5,000円（材料費）

募集方法 市報8月1日号、月刊こうみんかん8月号、ポスター、チラシ、市HP、
ツイッター
Eメールまたは往復はがき（申込多数の時は抽選）

対 象 市内在住・在勤・在学の方 全日程参加できる方

人 数 募集16人 応募32人 受講20人
延べ参加者 202人（男性3人・女性17人・そのほか0人）

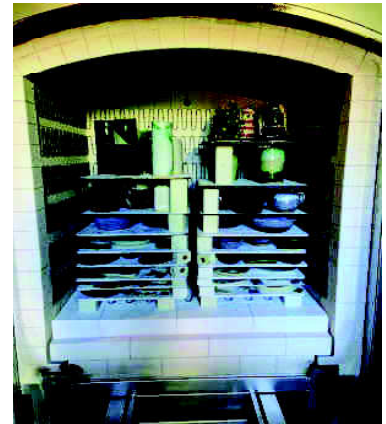
担当企画実行委員 赤尾 八朗、大蔵 芳夫、後藤 愛子

担当職員 田中 響、山崎 敬広

担当職員感想 講師の方針で、参加者それぞれが自由な作陶ができたため、満足度が高かったように感じた。最終日の作品発表会では、和気藹々とした雰囲気の中で参加者同士の交流も見られ、本講座の目的を達成することができたように思う。

参加者感想

- 皆で同じ物を作っていくのかと思っていたのですが、こんなに自由に沢山作らせて頂けて、期待以上の満足を得られました。
- 陶芸の入門、初めての体験でした。器はとても手がかかっていると改めて思い大切に使いたいと思いました。
- すべての工程が体験できて本当におもしろかったです。
- ひと通り技法を教えて頂いた後は好きなものを自由に作れたことが良かった。



緑 分 館

成人学校	多摩の縄文時代
-------------	----------------

- 目 的** 縄文時代とはどのような時代だったのか、最近の調査・研究成果を踏まえ、多摩地域、野川流域を中心に縄文人の暮らしや社会を考える。
- 日 程** 講 義：10月19日（水）、26日（水）午後2時から午後4時まで
野外研修：11月9日（水）午前8時30時から午後5時まで
- 講 師** 中山 真治（日本考古学協会会員）
- 場 所** 講 義：公民館緑分館 学習室A・B
野外研修：山梨県立考古博物館
- 参加費** 220円（入館料）
- 募集方法** 市報9月15日号、月刊こうみんかん9月号、ポスター、チラシ、市HP等
往復はがき 申込多数のときは抽選
- 対 象** 市内在住、在勤、在学の方
- 人 数** 募集 20人
応募 34人
受講 20人（男性8人、女性12人）
延べ参加者 58人
- 担当企画実行委員** 赤尾 八朗
- 担当職員** 林 文男
- 参加者感想** ○多摩地域に絞ってお話しいただき勉強になりました。野川流域の縄文遺跡にとっても興味があります。ありがとうございました。
○楽しかったです。また、このような講座があれば参加したいです。
○縄文時代は、ずーっと昔のことで現代の我々にはあまり関係がないように感じていましたが、ぐっと身近になりました。土器や土偶などを見るポイントが見えてきて楽しみが増えました。
○貴重なお話しありがとうございました。シリーズで何回も開催してほしいです。小金井に遺跡、遺物がたくさんあるので紹介してほしいです。
○今回のテーマは興味がありました。読んでいた本の点と点が講師の方のおかげでつながりました。特に小金井のことを知ることができて良かったです。分かりやすいお話しありがとうございました。

緑 分 館

成人学校	「終活」について考えてみませんか？
------	-------------------

目 的 身の回りの整理、相続を円滑に進めるための計画などの具体的な「終活」について専門家の話を聞いて考える。

日程・内容・講師

11月18日（金）

回	時間	内 容	講 師
1	10:00 ～12:00	その後を見据えた高齢者の住宅管理	持丸康和さん (土地家屋調査士)
2	13:00 ～15:00	事例から学ぶ我が家の空き家予防対策	佐々木由美子さん (行政書士)
3	15:00 ～17:00	終活に向けて準備しておきたいこと	小早川朋子さん (司法書士)

場 所 公民館緑分館 学習室A・B

募集方法 市報11月1日号、月刊こうみんかん11号、ポスター、チラシ、市HP等
申込順 電話または直接

対 象 市内在住、在勤、在学の方

人 数 募集 各回30人 応募 34人
受講 27人（男性11人、女性16人）
延べ参加者 47人

担当企画実行委員 赤尾 八朗、宮本 一

担当職員 林 文男

参加者感想

- 3講座通じてよく理解できた気がします。ただし、制度が頻繁に改定され、忘却することもあり、毎年のように聴講したいのでよろしくお願いします。
- 具体的に「個人に対応した諸問題」について、もう少し知りたいと思った。
- とても貴重なお話を伺えて、気づきの面でも参考になりました。また次回もこのような項目をお願いします。ありがとうございました。
- 一度の説明では理解しづらいと思いました。早期の遺言書につとめたいと思います。

貫井北分館

市民講座	一般教養や専門的知識 これからのエネルギーと私たちの生活
-------------	---

目 的 再生可能で環境にやさしいエネルギー開発の現状を知り、環境やエネルギーと経済活動や個々の生活との関連を考える

日程・内容・講師

回	日程	内 容	講 師
1	11/7	私たちの未来を支える環境にやさしいエネルギーシステム (1)	池上 貴志 さん (東京農工大学大学院 工学 研究院 准教授、小金井市環 境審議会会長)
2	11/14	私たちの未来を支える環境にやさしいエネルギーシステム (2)	
3	11/21	経済学から考える未来のエネルギーと私たちの生活	佐藤 一光 さん (東京経済大学 経済学部 准教授)
4	11/28	財政学から考える未来のエネルギーと私たちの生活	

※いずれも月曜日、午前10時から正午まで

場 所 公民館貫井北分館 学習室A・B

募集方法 市報10月1日号、チラシ、ポスター、市HP、貫井北センターHP
貫井北分館ツイッター、多数抽選 往復はがきまたはメール

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 20人 応募 17人 受講 17人 (男性13人、女性4人)
延べ参加者 54人

担当企画実行委員 岡村 寛美、原 幸恵

担当職員 伊藤 智代子

担当職員感想 30歳代から70歳代まで幅広い年代の方々が受講。また保育付き講座で、2歳児2人の保育を、きたまち保育サポーターが担当。

参加者感想

- 普段ニュース等で聞く言葉で、エネルギーに関しては理解できない言葉が沢山ありました。分かり易い説明で、これからはテレビ・ラジオ・新聞等エネルギーのニュースを見聞きする時、理解することが多くなりそうで楽しみが増えます。
- 1、2回目では、エネルギーの定義や意味をあらためて理解できてよかった。3、4回目では、世界的な脱炭素社会お現状と取り組みについて理解しましたが、技術と経済性で進めていくことは、本当に難しい。個人的には、再エネ意識を持って、省エネを実施していきます
- 子どもも見て頂きました。ありがとうございました。少し難しいかと身構えていましたが、丁寧にお話してくださり、よく内容がわかりました。

貫井北分館

成人学校

地域研究講座 まちの先生から学ぶ
はじめてのラッピング

目的 地域研究の一環として、市内で活躍する講師から知識や技術を学び、地域資源を知る。また、講師や参加者同士の交流を促進し、まちの活性化につなげる。

日程・内容

回	日程	内容
1	10/8	基本の包み方
2	10/22	リボンの結び方

※いずれも土曜日。午後2時から4時

場所 学習室C・D

講師 浮津 千愛さん（ギフトラッピングコーディネーター）

募集方法 市報9月1日号、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター、多数抽選、電話または直接

対象 市内在住、在勤、在学の方

人数 募集 各6人 応募 1回目：13人 2回目：14人
受講 各5人（各女性5人）
延べ参加者10人

担当企画実行委員 原 幸恵、本多 隆志

担当職員 野津 幸代

担当職員感想 基本の包み方、リボンの包み方ともに応募者が多く、関心の高さがうかがえます。もう少し定員を増やせないか検討したいです。

参加者感想

- 日常的に使えて、豊かな気持ちになれそうです。
- リボンをあんまりむすんだことがなかったので、こんなにいろいろなむすびかたがあるんだなあと思いました。たのしかったです！！
- クリスマスのときやバレンタインの時もやりたいです。
- とっても楽しい2時間でした。ぶきっちょで心配でしたが楽しめました。先ず練習ですね！
- 体のあちこちを使いました。可愛いのができました。役に立ちます。
- テレビなどで簡単そうに見えましたが、実際は慣れないと難しい事がわかりました

貫井北分館

成人学校	地域研究講座 秋のこがねい散歩～農工大通り～
-------------	---

目的 地域研究の一環として、農工大通りを歩き、商店街、神社、施設などの歴史や特徴を学び、理解を深める。

日程 11月18日（金） 午後1時～3時半

内容 武蔵小金井駅集合－農工大通り商店街－八重垣稻荷神社－東京農工大学科学博物館－東小金井駅解散

講師 農工大通り振興会会長 大野 周吉さんほか

募集方法 市報10月15日号、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター、多数抽選メールまたは往復はがき

対象 市内在住、在勤、在学の方で2時間半程度歩ける方

人数 募集 10人 応募 7人
受講 7人（男性 2人、女性5人）

担当企画実行委員 森 千尋

担当職員 野津 幸代

担当職員感想 農工大通りの商店街の方々が、お忙しいところ、町の歴史や、商店街の変遷、それぞれのお店の説明をしてくださいました。参加者の質問にも快く答えてくださいました。農工大通りをただ歩くというのではなく、脇道に立つ神社や石碑などを見ながらでしたので、町を知るという意味でもとても有意義な講座になりました。

参加者感想

- 農工大通りで2時間半？と思ったけどお店に入ったりして、思ったより楽しかったです。
- いろいろな商店、いろいろな道、博物館、猫の石碑など良かったです。
- 40年ほど小金井の農工大南側に住んでいて、すぐ側ですが、いつも同じ通りを歩いているので、脇道など通れました。

貫井北分館

陶芸入門

陶芸入門教室

目的 陶芸の基礎から学び、創造の喜びを実感し、仲間づくりに寄与し、地域とのつながりを深める。

日程 9月17日～11月19日 ※いずれも月曜（全7回）午前10時～正午

講師 東田 茂正さん（陶芸家）

場所 公民館貫井北分館 創作室、窯室、学習室A、IT-AB（保育室）ほか

参加費 3,200円（材料費）

募集方法 市報8月15日号、月刊こうみんかん8月号、チラシ、ポスター、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター
往復はがき（申込多数のときは抽選）

対象 市内在住・在勤・在学の方 ※初めて陶芸をされる方

人数 募集 8人
応募 29人
受講 8人（女性7人、男性1人）
延べ参加者 52人



保育 あり 2人（延べ保育人数 11人）

担当企画実行委員 土屋 文雄、原 幸恵、森 千尋

担当職員 村山 孝一

担当職員感想 今年度もコロナ禍での開催となり、定員を例年の半数に設定する。開催日を週末に設定しただけでなく、初めて保育付きとしたことから、申込された方々の年齢層が顕著に低くなる。きたまち保育サポーターによる保育で2人のお子さんを預かり、子育て世代の方々にも創作活動をゆっくり取り組んでいただけた。

参加者感想

- 物を作ったり、考えたりすることがとても苦手なのですが、上手に作れなくても楽しかったです。食器を使うたびに、楽しかったなあと思い出しています。また他の講座や教室にも参加したいです。
- ずっと習いたかった陶芸を公民館で立派な先生と優しい職員さんのもとので習うことが出来、大変感謝しています。また機会があれば陶芸を習いたいなと思います。作った作品大切に使います！

貫井北分館

青少年教育 講座	世代間交流の推進 防災食を活用！作って楽しむきたまち食堂 Part2
---------------------	---

目 的	感染症予防対策に配慮し、防災食を使用した簡単な調理法を「まちの先生」から学び、学校や学年を超えた交流を講師と参加者間が深める。
日 程	11月5日（土） 1回目：午前10時から12時まで 2回目：午後2時から4時まで
内 容	防災食を使用して「アルファー米オムライス」と「簡単レアチーズケーキ」を作る。また防災時に必要な物品の確認や、調理を通して講師と参加者が交流を深める。
講 師	潮田 彩さん（専門調理師、もぐもぐ子ども調理室代表講師）
場 所	公民館貫井北分館 生活室A・B
参 加 費	500円(材料費)
募集方法	市報10月1日号、ポスター・チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター 多数抽選 Eメール
対 象	市内在住・在学の小学生の方
人 数	募集 各回8人（多数抽選）×2回 応募 午前10人 午後8人 受講 午前8人(男性1人、女性7人) 午後8人(男性4人、女性4人) 延べ参加者 16人
担当職員	高木 貴紀、伊藤 智代子
担当職員感想	受講者が楽しそうに活動している姿が印象的でした。防災食を食べ慣れておくために、日常の中でよりおいしく食べるという目的、防災時にも活かせるよう、水や電気が使えない状況でも再現できるという目的の2つを軸にすることが次回の課題です。
参加者感想	○オムライスがもっとむずかしいと思ったけど先生の言い方がわかりやすかったからすごかった。 ○おもしろかったです、レシピがかんたんだから、いえでもつくってみたいです。 ○防災食をつかって、かんたんにつくれてよかった。また防災の知識も知れてよかった。他にも食器のふき方を知れてよかった。

貫井北分館

青少年教育 講座	健全育成事業 マンガ de トーク～ボクらの時代のヒーロー像～
---------------------	--

目 的	なぜ話題になっているのか、マンガを通して文化や社会状況等の " 今 " を見る。また、人の好みや楽しみ方など、好きなところから生き方やその人らしさを見出し、多様性の理解に繋げる。
日 程	11月20日(日) 午後2時から5時まで
内 容	好きなマンガを紹介し合い、様々な感じ方や考え方を知り、自分と他者の違いを認め合う。その後、講師の先生から文化や社会状況を踏まえて総評をいただき、多様性理解へと繋げる。
講 師	小西 公大さん(東京学芸大学 准教授)
場 所	公民館貫井北分館 学習室C・D
参加費	無料
募集方法	市報10月15日号、チラシ、ポスター、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター、小金井市立中学校全5校の全生徒チラシ配布、近隣学校へのチラシ配布、館内POP設置
対 象	市内在住・在学の小学生の方
人 数	募集 12人(多数抽選) 応募 5人 受講 4人
担当職員	高木 貴紀、伊藤 智代子
担当職員感想	好きなキャラクターの魅力から、どこに憧れているのか、自分がどうなりたいか等に発展させて深堀しました。好きを語れた充実感と、自分と向き合ったり悩みを話せたりしたことによるすっきりとした表情が印象的でした。マンガに限定せず、テーマを決めて好きなものを語る方法にする等、集客に繋がる工夫が次回の課題です。
参加者感想	○自分の好きなキャラクターについてなぜ好きなのかを考えると、自然と自分と向きあっていました。さらに話している中で他の人の言葉がしっくりきたり、改めて気づくことがたくさんあって、あっという間の3時間でした。ありがとうございました。 ○すごく楽しかったです。こんな話は余所ではできないので、けっこう好きなように話せてよかったです。 ○思っていた以上に自分の考えなどをかたれてよかったです。とても満足です。

貫井北分館

若者コーナー	環境づくり 文化祭・学園祭ポスター掲示
---------------	----------------------------

目的 地域にある高校や大学など教育機関の文化祭・学園祭のポスターを掲示し、学生の進路選択、地域住民と教育機関の情報交換の促進、および公民館と教育機関の連携につなげる。

日程 8月8日（月）から11月30日（水）まで

内容 文化祭や学園祭のポスターを掲示

場所 公民館貫井北分館

募集方法 チラシ、ポスター、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター、市内や近隣の公立・私立の高校・大学にポスター提供協力を依頼

参加校 私立高校2校、国立大学3校、私立大学2校の合計7機関

担当職員 高木 貴紀

担当職員感想 「文化祭・学園祭ポスター募集」のポスターは、武蔵野大学学外学習（フィールド・スタディーズ）生が実習の一環として若者当事者に関心を持ってもらうための工夫をしながら作成しました。ポスターは、文化祭実行委員長や広報担当の学生が持参して提供してくれました。コロナ禍で学外からの訪問不可などの制限や、ポスターを作成していない学校もあったものの、「毎年楽しみにしています」、「懐かしい気持ちになりました」など、来館者から感想もありました。また公民館貫井北分館では22時の閉館まで学習をしている学生が多数おり、進路選択や学習の励みとなるためにも「文化祭・学園祭ポスター掲示」は継続的に毎年開催が望ましいと思われます。



貫井北分館

図書館貫井北分室 公民館貫井北分館 連携事業	「死生観」を語り合ってみませんか？
---------------------------------------	--------------------------

目 的 超高齢社会・多死社会を迎えて、死が身近な日常となる社会になりつつある。カジュアルに死を語る「デスカフェ講演会・絵本読書会」の参加者から、もう少し具体的に死生観（生きること、死ぬことについての考え方や行動に向き合う）について語り合いたいとの要望を受ける。今回は、公民館を会場とした対面式ではなく、より語りやすいオンラインにて、死生観を語り合う場を提供する。

日 程 9月11日（日）午前10時～午後0時30分まで

内 容 第一部 「死生観」とは？ 解説：吉川 直人さん
第二部 参加者2グループ分かれて死生観を語り合う。（60分間）

講 師 吉川 直人さん（京都女子大学助教）
小口 千英さん（デスカフェ主宰者・看護師）



場 所 自宅 オンライン（Zoom会議システム）

募集方法 市報8月1日号、チラシ、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター
申込順 電話または直接 図書館貫井北分室へ

対 象 どなたでも

人 数 募集16人
応募12人 受講17人（主催者含む8人と9人の2グループ）

担当職員 公民館貫井北分館 村山 孝一
図書館貫井北分室 田中 肇、新井 剛

担当職員感想 オンラインによる語りやすい環境が、本講座にとって良い方に働いたと思われる。公民館を会場とした対面での講座の使い分けによって、主催講座の新しい可能性を改めて感じた。

参加者感想

- やはり死と生は表裏一体、死について向き合うことは即ち生きることと無意識に向き合うことなのだと再認識させられました。
- 普段考えないテーマで自分が言葉にできたのも貴重な体験でした。こういう機会を作っていただきありがとうございました。
- 自分の中の死と生に関する考えを深めることができました。思い残すことのないように日々を大切に生きてゆきたいと思いました。

公民館事業の計画

館名	No.	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
本館	1	令和5年度市民アカデミー準備会	市民アカデミーは政治・経済・国際・社会・環境・地域・技術革新・芸術文化など様々なテーマを取り上げる連続講座であるが、その企画を行う。	公募市民・本館企画実行委員・市職員で構成される準備会により企画運営される。	2/15(水) 午前10時～正午 以降毎週水曜同時刻(全6回予定)	—	—	
	2	第553市民映画会「僕のワンダフル・ジャーニー」	「見せる映画から観る映画へ」をモットーに生きがいとふれあいの文化創造の広場づくりをめざす。	貫井北分館学習室で偶数月の第三土曜日に実施している。(年6回)	2/18(土) ①午前10時～ ②午後2時～	【監督】ゲイル・マキューン 【キャスト】ジョン・ギャットー、キャスリン・プレスコット、デニス・クエイド 【吹替え】高木渉、早見あかり、大塚明夫	各回40人	貫井北分館 2019年アメリカ映画(上映は日本語吹替え版)
	3	成人学校「郷土かるた”小金井をもっと知ろう」	市制施行50周年に制作された、こがねい郷土かるたを題材とし市内歴史や文化財などを身近に感じてもらいつつ、実際に訪れることで新しい発見をしたり地元地域への愛着をより深めてもらう。	1回目:郷土かるたも使いながら市内歴史・文化材などを学ぶ講座 2回目:実際に徒歩で市内散策をしながらめぐる	2/22(水)・3/1(水) (雨天予備日3/8) 午後2時～4時	織壁哲夫(小金井史談会会長)、塚田善久(小金井史談会副会長)	20人 (多数抽選)	
	4	市民講座「短い時間でパパっときれいに!家事効率化のための片づけ講座」	実生活に役立つ効率的な片付け方や家族のライフプランの立て方を学び、さらに充実した生活を送ってもらうことを目的とする。	段々と引越しシーズンに入らる中で少しでも短時間で片付けられる方法を学習ぶ。	2/25(土) 午前10時～正午	飯塚優子(整理収納アドバイザー)	20人 (多数抽選)	
	5	成人学校「THE BEATLES～研究家が追いつける魅力～」	2022年デビュー60周年を迎えたビートルズ。研究家の視点から彼らの魅力を語ってもらい、音楽への興味関心をより深める。	ビートルズの歴史や時代背景をたどりながら音楽と共に楽しんで学ぶ	2/25(土) 午後2時～4時	藤本国彦(ビートルズ研究者)	30人 (多数抽選)	
	6	成人大学講座「イギリスを知ろう!」	EUからの離脱、エリザベス女王の崩御、度重なる首相交代劇など近年クローズアップされているイギリスを、その成り立ちの歴史と文化を学び、改めてイギリスという国を探求する。	従来、学芸大学内講堂等において大学授業形式で実施しているが、コロナ禍により利用制限等が厳しくあるため会場を公民館に移して実施している。	3/4(土)、11(土)、18(土) 午前10時～正午	大田信良(東京学芸大学外国語・外国文化研究講座教授)	30人 (多数抽選)	

館名	No.	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
貫井南分館	7	成人学校「植物学者 牧野富太郎を知る」	来年度、NHK朝のドラマの主人公となる植物学者、牧野富太郎を紹介することで、近隣に練馬区立牧野記念庭園があることや野草に対するの感心をもってもらうこと、こんな生き方もあるということを知ってもらいたいことからこの企画となった。	「日本の植物学の父」である牧野富太郎は小学校中退でありながら理学博士の学位を持つまでに至った生き様や功績を学習する。	3月5日(日) 10時から正午まで	伊藤千恵さん (練馬区立牧野記念庭園学芸員)	20人 (申込順)	
	8	音楽鑑賞のつどい スプリングコンサート「東京学芸大学ウインドアンサンブル」	地域住民に生の音楽を聞いていただき、リフレッシュしていただく。	親子が聴いて楽しめる楽曲となっている。	3月12日(日) 午後1時開場 午後1時30分開演	東京学芸大学ウインドアンサンブル	30人 (申込順)	
東分館	9	市民講座「鬼とは何者か～節分に見る日本の民間信仰～」	日本では古くから、宗教とは別に生活の中で伝えられている民間信仰が根付いている。「鬼」はあるときは恐ろしいものであり、またあるときはユーモラスな魔除けとして、人々を守る存在にもなっている。節分の儀式をひとつの例として、日本の社会において「鬼」とはいかなる役割をはたしているか、民俗学的な視点から学習する。	講師は国の機関の研究者であり、民俗学の学術的な視点から解説いただく。	1/28(土) 午前10時～正午	久保田裕道(独立行政法人 国立文化財機構東京文化財研究所無形民俗文化財研究室長)	24人 (多数抽選)	
	10	成人学校「子育て世代のための つるし飾りづくり入門～桃の節句に向けて～」	子育て世代向けに、ひな人形の脇などにつるす「つるし飾り」づくりの入門講座。	第1回から第3回は実技を学び、第4回の最終回は近隣(瑞穂町)の「つるし飾り展」を見学することで、多角的な学習を目指す。	2/2・9・16 いずれも木曜日午後2時～4時 2/18(土) 午前9時～午後3時	盛田真千子(絹細工の会代表)	8人 (多数抽選)	保育付き講座
	11	成人学校 音楽芸術鑑賞「美しきヴァイオリン&チェロの調べ バレンタインファミリーコンサート」	小さな子どもからシニアまでの幅広い世代を対象に、ヴァイオリンとチェロの調べを楽しむと共に、楽器のミニレクチャーの機会を提供することを通して、音楽への造詣を深めることなどを目的とする。	実施時間帯を公民館企画実行委員との協議の中で幼稚園児や小学校低学年の児童なども参加できる時間帯とした。また、演奏のほか、演奏楽器の魅力や歴史、鑑賞の楽しみ方等のミニレクチャーで構成した。	2/14(火) 午後2時30分～4時	「岡本姉妹」 ・岡本侑里子(ヴァイオリニスト) ・岡本 梨紗子(チェリスト)	25人 (多数抽選)	
	12	市民講座「2050年脱炭素社会への取り組み～日本のエネルギーはどう変わっていくのか～」	2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを達成するために、化石燃料から再生可能エネルギーへの変換は、課題解決の核となっている。世界各国のエネルギーへの取り組みや、日本の現状を知ることで、一人ひとりの地球環境への意識を高めることを目的とする。なお、小金井市でも2022年1月に「気候非常事態宣言」でカーボンゼロシティの目標を表明している。	※目的の欄参照	2/25、3/4 いずれも土曜日午後2時～4時	今村雅人(環境エネルギーライター)	24人 (申込順)	

館名	No.	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
緑分館	13	成人学校「家庭菜園入門」	自宅で野菜を育ててみたい、作ってみたいという方のために、基本から学ぶ家庭での野菜作り入門講座を実施する。	種まき、土作りや肥料の選び方などの基本から季節のおすすめ品種の栽培方法等を学ぶ。	2/10・17・24、3/3・10いずれも金曜日 午後2時～4時	高橋 孝文(有限会社サカタテクノサービス 種苗管理士)	24人 (多数抽選)	公民館緑分館学習室 A・B・C
	14	市民講座「”武蔵野”推し活プロジェクト！～故郷(ふるさと) 小金井を文学で学ぶ～」	小金井周辺の土地について文学の視点から学ぶことで、知見を広げる。	小金井を含む周辺の土地(武蔵野)の特徴を、文学作品と絡めながら説明していただく。	2/18・2/25、3/11 いずれも土曜日 午後2時～4時	土屋 忍教授(武蔵野大学文学部長)	30人	公民館緑分館学習室 A・B・C 【保育有】
	15	市民講座「首都圏・多摩地域の地震災害を考える」	東京大学地震研究所准教授による最新の地震研究を学び、防災意識の醸成に資する。	過去の地震災害からの学び及び多摩地域の地形や地質にクローズアップした講義を行っていただく。	2/5・2/19 いずれも日曜日 午前10時～正午	石山 達也(東京大学地震研究所准教授)	30人	公民館緑分館学習室 A・B・C 【保育有】
	16	音楽鑑賞のつどい「オペラって楽しい！！Vol.8～作曲家が語るオペラの魅力～」	難し、堅苦しいと思われがちのオペラだが、作曲家による解説や、プロの歌手の実演によって、オペラに馴染みのなかった方々にも興味を持っていただき、身近に感じていただく。	座学だけではなく、実際に受講者の目の前でプロの歌手に歌っていただくことで、オペラの迫力を感じていただく。	2/11(日) 午後2時～4時	山田 香差(作曲家) 新津 耕平(テノール歌手)	50人	公民館緑分館レクリエーション室
貫井北分館	17	青年教育事業 青少年教育講座 若者による自主講座「めざすはゴール！ ゴム動力カーをつくらう」	創造力と理数力で問題解決するSTEAM教育を取り入れて、ゴム動力カーをつくる。また試行錯誤しながらゴールする達成感を実感すると共に、講師の大学生と参加者や参加者同士が、講座を通して学年や学校を超えた交流を体験する。また地域の大学生が自主講座として企画・実施することで、チームワークの大切さや地域との交流を深める。	地域の大学生が自主講座として企画・実施することで、チームワークの大切さや地域との交流を深める。	2/12(日) 午前10時～正午	吉村健志(東京学芸大学 サークルSTEAMer)	16人 (申込順)	
	18	青年教育事業 環境づくり「しるべお守り・きたまちだるまの配布」	公民館の利用が少ない中学生以上の若者世代に、地域の居場所と感じてもらえるための環境づくりの一環として。	若者コーナーのキャラクター「キタはかせ」のゴム印を表紙にした「しるべお守り」と、折り紙で作成した「きたまちだるま」を配布。普段から公民館で一生懸命に学習に取り組んだ自分自身を思い出し、定期テストや受験などの励みにしてもらう。	1回目1/5(木)～ 1/11(水) 2回目2/6(月)～ 2/10(金) 3回目2/20(月)～ 3/3(金)			なくなり次第終了。
	19	青年教育事業 世代間交流の推進 実施要項「プラネタリウム解説員が語る星空のお話」	天体観測を通して天文・宇宙分野への関心を高め、理解を深める。講師と参加者の交流、学校や学年を超えた参加者同士の交流を深める。	疑似プラネタリウムを鑑賞して星空について学び、天文・宇宙分野への関心を高め、星をもっと身近なものにする。取り上げた星に関連するギリシャ神話や星のロマンを語り合い、質疑応答を通して交流を深める。	2/12(日) 午後2時～4時	坪内重樹(プラネタリウム解説員)	16人 (多数抽選)	

館名	No.	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
貫井北分館	20	成人教育事業 成人学校 人権教育講座「災厄をしなやかに生きる ～文学の想像力～」	コロナ禍など感染症や震災などの状況でもしなやかに生き抜くために、また誰もが個人として尊重され平等で、一人ひとりが輝く生き方について、文学作品から考える。	1回目「震災と文学 ～村上春樹と川上弘美～村上春樹「かえるくん、東京を救う」「蜂蜜パイ」、川上弘美「神様」「神様2011」から考える」 2回目「パンデミック(感染症)と文学 ～カミュ『ペスト』を読む～」	1/22、29(いずれも日曜日) 午後2時～4時	千田 洋幸(東京学芸大学 教授)	20人 (申込順)	図書館貫井北分室の協力により関連図書の選書と展示
	21	成人教育事業 高齢者学級「はなみずき学級」準備会	高齢者が楽しく心豊かな生活を送るために、学習の機会や仲間づくりの場として、高齢者学級の企画や内容について、楽しくおしゃべりしながら一緒に考える。		1/19(木)午前10時～11時		申込み不要。当日直接会場	
	22	成人教育事業 市民講座「ぬくいきた認知症サポーターフォローアップ研修」	認知症サポーターのスキルアップと、サポーター間の交流を図り、認知症を地域で支えるチームづくりを目指す	高齢者施設の種類と違い、介護経験者を交えた交流会	1/30(月)午後2時～4時	高橋美樹(小金井にし地域包括支援センター)、介護経験者2人		対象は令和4年度ぬくいきた認知症サポーター講座参加者
	23	成人教育事業 成人学校 地域研究講座「小金井市とその近郊の歴史、自然、街並みを歩くコースを作る意見交換会」	地域を知るための 地域研究講座の一環で、小金井市 やその 近隣を歩く「こが ねい散歩」「むさしの散歩」のコースを考える。		2/11日(土)午前10時～正午		10人 (申込順)	

小金井市行財政改革2025及び小金井市公民館
中長期計画に基づく公民館緑分館の委託化について

答申書（たたき台）

令和5年1月11日
小金井市公民館運営審議会

1 小金井市公民館緑分館 委託化の経緯

小金井市（以下「市」という。）では、平成9年に行財政改革大綱を策定して以来、行財政改革に取り組んできた。小金井市公民館（以下「公民館」という。）に焦点を当てると平成22年5月に策定した第三次小金井市行財政改革大綱において、公民館業務の一部委託化が実施項目に位置付けられた。これに伴い、第31期小金井市公民館運営審議会において、「（仮称）貫井北町地域センター運営等について」の諮問を受け、市民協働、公民連携による新たな公民館運営の在り方について、望ましい施設運営の条件、在り方を示す形で、平成25年7月に答申を行った。市では本答申に基づき、平成26年4月から公民館貫井北分館の業務をNPO法人市民の図書館・公民館こがねい（以下「NPO法人」という。）に委託している。

同年10月には、第32期小金井市公民館運営審議会において、「公民館業務の見直しについて」の諮問を受け、同年12月に公民館東分館の業務委託に当たっての留意事項、問題事項を提示する形で答申を行い、市は本答申の提言等に基づき、平成27年8月から公民館東分館の業務をNPO法人に委託している。

令和4年8月に、市では新たな行財政改革大綱である小金井市行財政改革2025を策定しており、「公民館緑分館の委託化」を重点取組の一つである「公民連携・アウトソーシングの推進」の個別取組に位置付け、その実現が求められている。

一方で、市では令和3年3月に小金井市公民館中長期計画（以下「公民館中長期計画」という。）を策定しており、この中で、公民館緑分館（以下「緑分館」という。）の委託に関しては、宿泊設備の利用率向上、野外調理場の存続の検討を課題として掲げ、委託に当たっては緑分館の歴史や特徴等も踏まえ、業務委託を進めることとしている。さらに、業務委託を進める場合であっても、経験や専門性をもった公民館職員の継続的配置を確保し、公民館全体で統一性を持った運営が行えるよう努めることとしている。

以上のような経過を踏まえ、第36期小金井市公民館運営審議会では、「小金井市行財政改革2025及び小金井市中長期計画に基づく緑分館の委託化について」の諮問を受け、答申を行うものである。

2 緑分館の現状等

(1) 緑分館の建設の経過

緑センターに隣接する浴恩館公園敷地内には浴恩館がある。浴恩館は全国青年団幹部を養成するため、昭和5年に現在地に移築され、長く青年団講習所として利用されてきた。本施設は作家「下村湖人」が青年講習所の所長として講習生と語り、小説「次郎物語」の構想を練った施設としても有名である。

時代の変遷により、昭和48年に（財）日本青年館から市が浴恩館を買い取り、小

金井市青少年センター（以下「青少年センター」という。）を開館した。青少年センターは、野外調理場や体育館、テニスコート場を備え、また、恵まれた自然の中で、日ごろ体験できない宿泊キャンプ、自炊、学習活動等が行われた。

しかしながら、浴恩館公園の都市公園整備や老朽化等の事情により、浴恩館公園に隣接する現在地に青少年センターの機能を継承する形で、平成3年10月に緑センターが建設され、現在に至る。

(2) 緑分館の主な設備、機能

緑分館が備えている特徴的な設備、機能等は以下のとおりである。

ア 宿泊設備

宿泊設備として、緑センター2階にシャワールーム、研修室A・B・Cを備えている。

年間の利用件数は6件から20件程度となっているが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、使用を中止している。

イ 野外調理場

浴恩館公園敷地内には、野外調理場があり、野外炊事用かまど、炊事台及び水道が設置されており、青少年の野外炊事実習や地域のイベントなどに活用されていた。

周辺環境の変化、安全性確保の問題及び新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和3年4月から使用を中止している。

ウ テニスコート場

浴恩館公園敷地内には、テニスコート場があり、多くの公民館登録団体に使用されている。概ね2年に1度、テニスコート場の整備を委託により実施している。

エ 高齢者いきいの部屋

緑センター1階に集会室A・Bがあり、高齢者団体等が優先的に使用し、空いている時間帯は公民館登録団体が使用している。

(3) 緑分館で実施している事業

緑分館では、他の公民館と同様に、高齢者学級、市民講座、成人大学、成人学校などの主催講座を実施している。緑分館における特徴的な講座として、子ども体験講座、国際交流イベント、生活日本語講座、陶芸教室などがあり、令和3年度からは市民がつくる自主講座を緑分館職員が中心となり、市民との協働により講座を実施している。

3 緑分館の課題

(1) 施設、備品の老朽化について

緑センターは平成3年9月に建設された建物であり、令和3年3月に策定した小金井市社会教育関係施設 個別施設計画においては、天井等の雨漏り、外壁等の劣化・損傷、電気設備・機械設備の劣化等が指摘されており、同計画では令和9年度、令和10年度に長寿命化改修を予定している。

しかしながら、現状では、事務室のほか、各諸室及びロビー等の天井、壁、内部建具、床等にも損傷が見られ、また、ロビーや諸室にある備品等についても使用に耐えないものも多数散見される。

(2) アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた公民館活動について

現在、公民館では、講座管理システムを導入し、諸事情により講座に参加できない市民であっても講座参加が可能になる取組み、遠隔地にいる講師による遠隔地接続による講座実施の取組みなど、アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた公民館活動を模索している。

しかしながら、現在、講座管理システムを運用できるのは、常時接続可能なWi-Fi環境を整備している公民館本館及び公民館貫井南分館に限られており、緑分館を含む他の3館での運用は難しい状況である。

(3) 宿泊設備について

令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響もあり宿泊を中止している状況であるが、社会情勢等を踏まえ、適切なタイミングを捉えて、業務を再開する予定である。業務再開に当たっては、使用方法、使用人数、食事等のルールや再度中止する場合のルールなどを定める必要がある。

(4) 野外調理場について

野外調理場の周辺環境の変化、安全性確保の問題及び新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和3年4月から野外調理場の使用を中止している。現在、近隣の居住者や利用団体等の意見を伺いながら方向性を検討しているところであるが、これまでと同様の方法により使用することは、難しいものとする。

緑センター敷地内に移設するなどの方法も考えられるところではあるが、その場合においても近隣の関係者等との調整等が必要であり、課題解決までには一定の時間を要するものと推察される。

(5) 地域との連携、社会資源の活用について

緑分館周辺には浴恩館公園、公立小中学校、都立高校、私立中・高校、私立大学及び民間事業者等が立地しており、社会資源に恵まれた地域である。令和5年1月には、緑中学校の生徒の実習の受入れを予定しているほか、これまでも東京農工大学等と連携して魅力的な講座を実施してきた。

今後も更なる連携強化、民間事業者等の新たな社会資源との連携構築などを望む。

4 目指すべき緑分館の方向性

- ・ 地域コミュニティ、産学官民の連携
- ・ みんなのたまり場としての公民館
- ・ 公民館活動のコーディネーター機能
- ・ 青少年センター機能の歴史等を踏まえた講座、立地を生かした講座の実施
- ・ 専門性、知識、経験のある人材の確保
- ・ 継続性のある運営体制の構築
- ・ 本館及び各分館との連携強化

公民館登録団体及び社会教育関係団体の公民館利用状況調べ

1.前提条件

1-(1).公民館登録団体、社会教育関係団体の数(令和4年11月1日現在)

公民館使用団体登録	1,697 団体
社会教育関係団体	100 団体

1-(2)抽出等の前提条件

- ・公共施設予約システムにより、年度ごと、施設ごとの利用件数を抽出
- ・公民館登録団体の利用件数と社会教育関係団体一覧名簿(令和4年11月1日現在)のデータを突合し、「社会教育関係団体の利用件数」等を算出
- ・「社会教育関係団体の利用件数」等は、「公民館登録団体の利用件数」等の内数となる。
- ・複数の施設を利用している団体があるため、施設ごとの「団体数」と全体の「団体数」の合計は一致しない。
- ・「高齢者いこいの部屋」、「1件利用」、「スタジオ利用団体」及び「公民館テニスコート利用団体」の利用件数は除く。

2. 令和元年度 公民館使用団体等の利用件数及び団体数

2-(1).公民館使用団体

項目	本館	貫井南分館	東分館	緑分館	貫井北分館	全体
公民館使用団体の利用件数	2,297 回	2,019 回	4,050 回	5,103 回	5,711 回	19,180 回
利用した公民館使用団体の数	269 団体	192 団体	346 団体	522 団体	609 団体	1,364 団体

2-(2).社会教育関係団体

項目	本館	貫井南分館	東分館	緑分館	貫井北分館	全体
社会教育関係団体の利用件数	91 回	12 回	94 回	48 回	241 回	266 回
利用した社会教育関係団体の数	16 団体	5 団体	11 団体	10 団体	28 団体	39 団体

3. 令和2年度 公民館使用団体等の利用件数及び団体数

3-(1).公民館使用団体

項目	本館	貫井南分館	東分館	緑分館	貫井北分館	全体
公民館使用団体の利用件数	1,554 回	1,318 回	2,376 回	3,503 回	3,879 回	12,630 回
利用した公民館使用団体の数	206 団体	141 団体	254 団体	356 団体	446 団体	1,031 団体

3-(2).社会教育関係団体

項目	本館	貫井南分館	東分館	緑分館	貫井北分館	全体
社会教育関係団体の利用件数	91 回	13 回	30 回	21 回	164 回	312 回
利用した社会教育関係団体の数	18 団体	5 団体	7 団体	6 団体	21 団体	34 団体

4. 令和3年度 公民館使用団体等の利用件数及び団体数

4-(1).公民館使用団体

項目	本館	貫井南分館	東分館	緑分館	貫井北分館	全体
公民館使用団体の利用件数	2,013 回	1,699 回	3,264 回	4,331 回	4,982 回	16,289 回
利用した公民館使用団体の数	245 団体	167 団体	271 団体	424 団体	500 団体	1,093 団体

4-(2).社会教育関係団体

項目	本館	貫井南分館	東分館	緑分館	貫井北分館	全体
社会教育関係団体の利用件数	144 回	8 回	70 回	40 回	210 回	472 回
利用した社会教育関係団体の数	20 団体	1 団体	10 団体	11 団体	24 団体	38 団体

令和5年度 公民館運営審議会スケジュール(案)

期	回	開催日	開催場所	備考
第36期	第13回	令和5年2月10日(金)	図書館	三者合同会議
	第14回	令和5年3月8日(水)	市役所第二庁舎801会議室	追加実施
	第15回	令和5年4月12日(水)	市役所第二庁舎801会議室	
	第16回	令和5年5月17日(水)	市役所第二庁舎801会議室	
	第17回	令和5年6月14日(水)	市役所第二庁舎801会議室	
	第18回	令和5年7月12日(水)	市役所第二庁舎801会議室	
	第19回	令和5年9月6日(水)	市役所第二庁舎801会議室	
第37期	第1回	令和5年10月11日(水)	市役所第二庁舎801会議室	
	第2回	令和5年11月22日(水)	市役所第二庁舎801会議室	
	第3回	令和6年1月17日(水)	市役所第二庁舎801会議室	
	第4回	令和6年2月14日(水)	市役所第二庁舎801会議室	

※ 開催日は予定です。今後、変更になることがあります。